

呼吸器外科

1. 概要

心臓と食道、乳がんを除く胸部疾患を対象としている。主対象である肺癌は、死因の第1位で増加の一途をたどっている。ヘビースモーカーの多かった団塊の世代が、肺癌好発年齢の中心を占め、今後しばらく減少する気配は見られない。

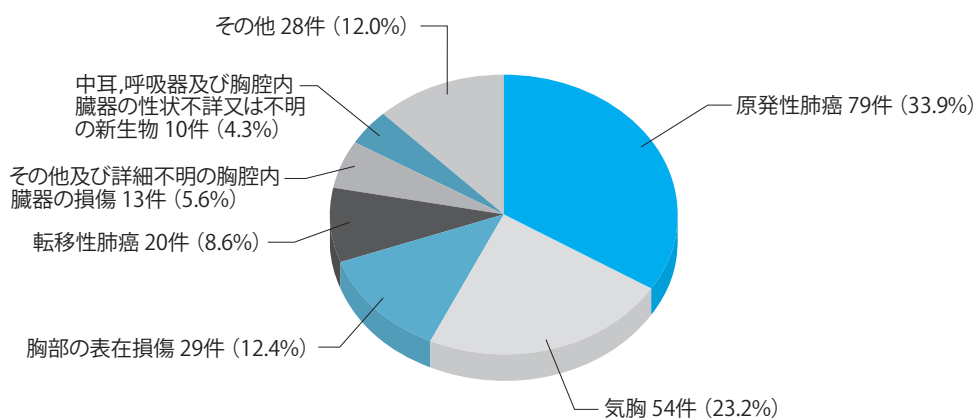
近年では胸腔鏡を用いて開胸創をより小さく、手術浸潤を軽減することで、標準的な肺癌手術でも、手術前日の入院から退院まで5から7日間の治療が可能となっている。残念ながら、定期健診を受けずに進行癌となってから来院されるケースもあり、この場合はすでにリンパ節や他臓器に転移していることも多く、再発の危険が増すばかりか抗癌剤投与や放射線治療の追加が必要となり、経済面や治療時間においても負担が大きくなる。したがって早期発見のため、無症状のうちに受ける住民健診等による定期的なスクリーニングが極めて重要である。

毎週定期的に、呼吸器内科・放射線科と合同カンファレンスを行って、個々の症例に関して治療方針を検討しており、症例ごと病状に適した治療が行えるよう心がけている。

(部長 成田 久仁夫)

2. 新規登録疾患

総数：233件



疾患名	主となるICD-10病名	件数(件)	ICD-10
原発性肺癌	気管支及び肺の悪性新生物, 気管支又は肺, 部位不明	77	C349
気胸	その他の自然気胸	26	J931
	気胸, 詳細不明	24	J939
胸部の表在損傷	胸部の挫傷	29	S202
転移性肺癌	肺の続発性悪性新生物	20	C780
その他及び詳細不明の胸腔内臓器の損傷	外傷性気胸	4	S270
	外傷性血胸	4	S271
中耳, 呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物	中耳, 呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物, 縦隔	7	D383
	中耳, 呼吸器及び胸腔内臓器の性状不詳又は不明の新生物, 気管, 気管支及び肺	3	D381

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	2,593人	年間外来新患者数	312人
年間入院患者数	2,207人	年間入院新患者数	206人

学会発表（医局）

<呼吸器外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	開催地	発表年月日
1	胸壁切除後に肩甲骨の胸腔内陥入を生じた1例	筆頭演者	大畑 賀央	第33回日本呼吸器外科学会総会	京都市	2016/5/12
2	ダブルルーメンチューブカフの大量誤注入による左主気管支膜様部破裂の1手術例	筆頭演者	親松 裕典	第39回日本呼吸器内視鏡学会学術集会	名古屋市	2016/6/23
3	当院にてVAC療法を行った3症例の検討	筆頭演者	大畑 賀央	第39回日本呼吸器内視鏡学会学術集会	名古屋市	2016/6/24
4	食道胃接合部癌切除後5年3ヶ月に確認された孤立性肺転移の1切除例	筆頭演者	親松 裕典	第57回日本肺癌学会学術集会	福岡市	2016/12/19

論文・著書(医局)

<呼吸器外科>

No.	題 名	区分	氏名	雑 誌 名
1	ダブルルーメンチューブカフの大量誤注入による左主気管支膜様部破裂の1手術例	筆頭著者	親松 裕典	気管支学. 2016; 38: 114-117.
2	治療に難渋した胸腺腫合併重症筋無力症の1例	筆頭著者	直海 晃	胸部外科. 2016; 69: 881-884.
3	硬膜外麻酔併用全身麻酔下で肺区域切除後に発症した脊髄梗塞の1例	筆頭著者	親松 裕典	日呼外会誌. 2016; 30: 594-597.
4	食道癌術後の胸腔間交通による両側同時気胸の1手術例	筆頭著者	親松 裕典	気管支学. 2016; 38: 130-133.
5	New Technique for fi xing rib fracture with bioabsorbable plate	筆頭著者	Hironori Oyamatsu	Asian Cardiovasc Thorac Ann. 2016; 24: 736-738.
6	急速に増大した中縦隔発生Solitary Fibrous Tumorの1切除例	筆頭著者	親松 裕典	日呼外会誌. 2016; 30: 710-715.
7	0.1%ピオクタニン水溶液洗浄が有効であったネフローゼ症候群合併有癭性MRSA膿胸の1例	筆頭著者	直海 晃	日呼外会誌. 2016; 30: 159-163.
8	胃原発GIST切除後肺転移の1切除例	筆頭著者	親松 裕典	日呼外会誌. 2016; 30: 19-24.